

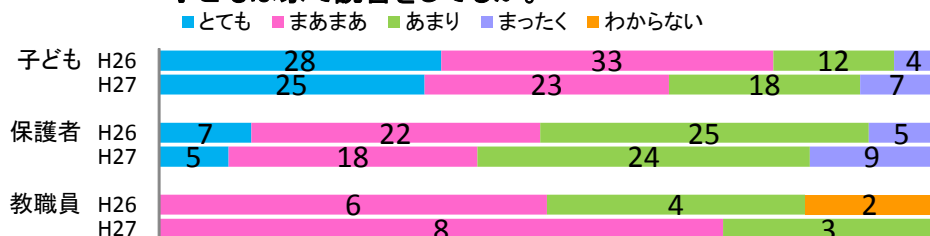
学校評価結果 特集号 NO.1

この特集号では、読書・学習・運動・あいさつ・そうじ・心の大きく六つに分けて、アンケート結果のグラフ、それに対する職員の分析や次年度に向けての改善策等について述べていきます。

読書

今年度、子どもたち、保護者の皆さん、職員全てにおいて、評価が低かったのは読書です。「家で読書をしていますか？」の問いに「あまりしていない」「まったくしていない」と答えた割合がH26年度より増えています。「読書の楽しさを十分味わっていないのではないか。」「子どもも保護者も忙しく時間がとれないのでは？」「家庭で過ごすとき、『宿題→テレビ・ゲーム』のリズムになっているのではないか」「ゲームやテレビの時間はあるが、読書しようという意欲が乏しいのではないか」と分析しました。

子どもは家で読書してるか。



そこで、次の3点から考えてみました。

①リズム

- 宿題→テレビ・ゲームのリズムにならないように、宿題として「読書」や「音読」を設定するのもよいのでは。
- 「宿題が終わったら、今借りてる本と一緒に読もうね。」等の声かけをお願いします。家庭で、テレビを消して子どもは読書、大人はスマホをいじるのではなく新聞を読んだり読書をしたりする時間を少しでもとってもらえたら・・・と思います。

②イベント

- これまで通り読書旬間にゲストによる朗読や人形劇などを企画する。
- 親子読書週間を設けたり、「にしはら自己啓発の日」などに合わせるなど工夫して親子読書の日を設定したりする。
- 年間の読書週間の回数を増やす。

③読書がもう意味

- 毎月第1・3火曜日は、ボランティアで読み聞かせに来ていただいています。読み聞かせの楽しさを子どもたちに十分味わわせたいと思います。
- 国語の教科書には、同じ作者の本が紹介してあったり、同じテーマの本を勧めたりするコーナーがあります。担任は、国語の学習を通して、読書の楽しさをより伝えていきます。
- おすすめの本を図書室に展示してもらったり、学級通信におすすめの本を紹介したりして子どもが図書室へ訪れる回数を増やしたいと思います。



パソコンなど ICT 活用が進めば進むほど読書離れを引き起こすというデータもあると聞きました。特集号 NO2 では、学習のことについて述べますが、授業も家庭学習も「心を落ち着ける」「集中する」があつてこそ成り立つものです。また、世界観が広がったり、語彙が豊富になったり、本の中でいろんな体験をしたりするなど、読書の良さをこの機会に河原小全体で考えていきたいものですね。



河原小だより

3月

NO. 9

H 2 8 . 3 . 9

西原村立河原小学校
文責：草場ルミ子

校長室の

も原した。が二少る九月
是非小。課。月し。ア
聞。を。題。二。ン
か。こ。の。の。け。ケ
せ。の。「。の。紹。と
て。特。集。か。し。を。子
い。集。号。ど。す。結。も
だ。に。は。れ。果。た。ち
き。そ。れ。を。全。が。と
たい。ら。改。善。平。保
と思。を。善。成。護
つ。い。含。さ。二。者
て。こ。の。め。る。十。の
い。集。号。を。読。ま。れ。た。感。想